行われた質疑から

～決算審査特別委員会～

総務部門

質問　市民の税負担の公平性確保の観点から税金の収納率向上対策、健全な財政運営に向けた経常収支改善への取り組みについて伺います。

答弁　広報等通じて期限内納付のお知らせ等しておりますが、経済情勢が悪化しておりますが、コールセンターの設置、部課長の戸別訪問による納付督励等も実施しております。夜間の納税相談も行っており、分割納付の相談にも応じる等今後も収納率向上に努めます。その他の財源確保策については現在、広報・ホームページへの広告掲載による広告料があります。今後は、公用車や封筒、公共施設の内、公園のベンチ等、公共施設の命名権を与えて収入を得る等、可能な限りあらゆる方策を用いて収入を増やすよう努力いたします。

質問　公金着服事件の再発防止策について伺います。

答弁　品目ごとの在庫管理の徹底とバーコードシステム導入、公金を取り扱う部署ごとにマニュアル作成し提出させており、モラルの一層の向上と注意を喚起しております。

質問　市税の不納欠損が７６５９件、１億１７００万円とたいへんな額です。このことについてどのように考えているか伺います。

答弁　経済状況が非常に厳しいと感じておりますが、収入に応じた税金を納付していただくことをさまざまな方法で市民の皆さまにご理解をいただき不納額の縮小に努めてまいります。

質問　民間開放が可能と思われる業務について事業者から提案募集を行った結果について伺います。

答弁　市営温泉施設の管理運営業務、市立図書館の運営業務、公共下水道等の設備計画確認の申請審査の業務について、市場化テストの対象として検討いたします。

質問　大学誘致の今後の考え方について伺います。

答弁　大きな初期投資をして大学誘致をしようという考えはありません。さまざまなネットワークを使い、大学との関係を構築しながら、奥州市に来ていただけるような流れをつくれないかと考えています。

質問　東京事務所の現状と今後について伺います。

答弁　本庁からの指示あるいは連携のもとに、市のＰＲ活動や情報収集活動、企業誘致推進活動を行っております。今後どのような形にしていくかについては、12月までに方向性を示せるように現在検討をしております。

質問　前沢区のハートバスの利用者が大きく減少しております。その原因と今後の対応策について伺います。

答弁　昨年度途中から、土曜日の運行を休止したことがひとつの原因だと思います。より多くの方に利用していただくのが一番ですが、運行経費の問題もあります。今後早い時期に、望ましい料金体系も含めて、よりよい運行体系を検討し対応してまいります。

質問　地域力をつけるために、地域協議会や総合支所長の権限を拡充すべきと考えますが伺います。

答弁　地域協議会および総合支所長の役割については、改善をしていかなくてはならないと認識しています。各地域が特色のあるまちづくりをしていくために、具体的な政策提言や事業の具現化ができるように、組織的な部分として考えていく必要があると思います。

教育厚生部門

質問　女性特有のがん検診推進について、無料クーポン券を発行した効果について伺います。

答弁　全体の受診率は、乳がん検診21・6％、子宮がん検診17・3％とそれぞれ前年度よりアップしています。特にクーポン券を発行している年代層については、受診率の平均がそれぞれ40・4％、41・6％とその効果はあったと思われます。

質問　ジェネリック医薬品の推奨策について伺います。

答弁　医師会と協議の上、患者さんが自分の意思を示しやすい環境づくりをしていきたいと思います。

> ※ジェネリック医薬品…製薬会社が開発した医薬品の特許が切れたあとに、別のメーカーが同じ有効成分でつくる薬のこと。後発医薬品。先発薬と同等の有効成分で同等の効果があるにもかかわらず、価格が安い。

質問　健康増進サポーターの養成についてどのように考えているか伺います。

答弁　市民の健康づくりのための身近な相談役や高齢者の健康づくりの支援、認知症等の予防を目的